

令和8年度「豊かな心」育成プログラム

学校番号：22018
学校名：篠路西小学校

「豊かな心」育成プログラムのポイント		○安心して学校生活を過ごすことのできる環境を整備し、人との関わり（つながり）を育む。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「豊かな心」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆自ら学校生活をよりよくしようと動き、多様な他者と認め合える子 ☆「自他の尊厳を重んじる心」「困難に立ち向かうしなやかな心」「多様性を認め合う心」をもつ子 		
「豊かな心の育成」に関する成果や課題	集団作りや道徳を通じた豊かな心の育成	【具体的な取組】 ○「学びのコントローラー」を子どもに委ね、児童会や委員会が自分たちの願いを実現する自治的な活動を推進する。 ○「子どもの声を聴く」場を意図的に設定し、学校生活のルール改善や行事の企画に児童の意見を反映させる ○道徳科を核とし、AAR サイクル（見通し・行動・振り返り）を取り入れた、自分事として考える授業を構築する。	【成果】 ➡「安心感」をベースとした発言や交流が全校で定着した。 ➡さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」が学校生活の共通言語として浸透した。	【課題】 ◇自己肯定感を高めるための「自らの伸び」を実感させる可視化の工夫 ◇多様な背景（障がい、外国籍、不登校等）をもつ他者への理解と包摂
	いじめ防止や命を大切にす指導を通じた豊かな心の育成	○「シャボテンログ」やアンケート結果を多角的に分析し、未然防止・早期解消に向けたチーム支援を強化する。 ○「すぐーる」のタイムラインやホームページを活用し、日常の【よい姿】を具体的かつ戦略的に発信し、家庭での承認を促す。 ○相談支援パートナー等の活用により、別室登校児童も含め「学びたいときに学べる環境」と居場所を保障する。	【成果】 ➡デジタルツール（シャボテンログ）の活用により、児童の心身の変化を早期に把握し、迅速な個別支援に繋げることができた。 ➡スクールカウンセラー（SC）等との連携による専門的な心のケア体制が構築された。	【課題】 ◇自己肯定感を「他者からの承認」から「自己承認」へと繋げるプロセスの確立 ◇SNS等の情報モラルに関わるトラブルの未然防止指導の充実
今年度の具体的な取組	取組の最重点	【子どもの声とプラスのまほう】 自治的な活動の推進と、児童の主体性を核とした学校づくり		
	集団作りや道徳を通じた豊かな心の育成	○児童会や各委員会が、全校アンケートの結果をもとに「通うのが楽しい学校」のためのイベントを自ら立案・実行する。 ○通常学級と特別支援学級の「担任交換授業」や交流学习を通し、多様性を尊重する心を育む。		
	いじめ防止や命を大切にす指導を通じた豊かな心の育成	○いじめ・悩みアンケートの継続と、SCや外部機関と連携した「いじめ防止委員会」を機動的に運営する。 ○生命（いのち）の安全教育を学校安全計画に位置づけ、発達段階に応じた系統的な指導を行う。		
検証の方法	調査や自己評価の活用	○札幌市共通指標（学習・ICTアンケート）を活用し、児童の変容と実態の把握に努める。 ○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）において子どもの声を共有し、地域・保護者と共に行う学校評価とする。		